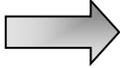
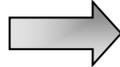
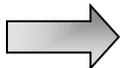


愛知県経済の現状と見通し<2024年5月>

1. 景気判断一覧表

部門	個別項目	水準評価 ※1	基調判断(前月比較)※2	
				詳細
総括判断	景気の現状			<p>緩やかに持ち直している</p> <p>-----</p> <p>経済活動の正常化に伴い、輸出や個人消費は持ち直しの動きがみられ、県内景気は緩やかに持ち直している。</p>
家計部門	個人消費			<p>回復に向けた動き</p> <p>-----</p> <p>百貨店販売額は30か月連続の前年比増加</p>
	雇用			<p>回復傾向が一服</p> <p>-----</p> <p>新規求人倍率は2か月ぶりの前月上昇</p>
	住宅投資			<p>弱含んでいる</p> <p>-----</p> <p>住宅着工戸数は3か月連続の前年比増加</p>
企業部門	企業活動			<p>緩やかな回復傾向にある</p> <p>-----</p> <p>鉱工業生産指数は2か月連続の前年比低下</p>
	企業倒産			<p>悪化しつつある</p> <p>-----</p> <p>企業倒産件数は3か月連続の前年比増加</p>
海外部門	輸出			<p>持ち直している</p> <p>-----</p> <p>名古屋港通関輸出金額は30か月連続の前年比増加</p>
公共部門	公共投資			<p>持ち直しの兆し</p> <p>-----</p> <p>公共工事請負金額は2か月連続の前年比増加</p>

当面の見通し	<p>緩やかに持ち直す見通し</p> <p>-----</p> <p>インバウンド需要の回復が期待され、景気は緩やかな持ち直しが続くと思われる一方、物価高や海外経済の減速による景気下押し圧力が強まる可能性も。</p>
--------	---

※1「水準評価」は、景気全体ならびに個別項目の水準について5段階で判断するもので、

:晴、:晴～曇、:曇、:曇～雨、:雨、を示す。

※2「基調判断(前月比較)」は、基調判断の表現を前月と比べたもので、

:上方修正、:据え置き、:下方修正を示す。

(例えば、「回復」→「減速」となれば下方修正、「回復」→「回復」なら据え置き、となる)

したがって、矢印は景気全体ならびに個別項目の方向感を示すものではない。

個別項目の見通しは、特に表記がない場合には先行き半年間程度の見通しを示す。

お問い合わせ先	三十三総研 調査部 内田
	電話: 059-354-7102
	Mail: 33ir@33bank.co.jp

2. 個別部門の動向:家計部門

個人消費	水準評価		⇒	詳細	回復に向けた動き
	基調判断	前月比較			

≪現状≫

- 個人消費は、回復に向けた動き。
- 個人消費の動向を支出側からみると、3月の消費支出(勤労者世帯、名古屋市)は、前年比+20.1%と5か月ぶりの増加(図表1)。光熱・水道(同▲32.3%)や教養娯楽(同▲21.8%)などが減少したものの、交通・通信(同+176.6%)、家具・家事用品(同+119.7%)などが増加。
- 個人消費の動向を販売側からみると、3月の百貨店販売額は、前年比+7.4%と30か月連続の増加。インバウンドの回復や値上げ前の駆け込み需要により、化粧品や高級品が好調に。スーパー販売額も同+6.8%と増加(図表2)。
- 4月の新車乗用車販売台数(含む軽乗用車)は、前年比▲8.3%と4か月連続の減少(図表3)。内訳をみると、普通車(同+0.3%)が3か月ぶりに増加した一方、小型車(同▲14.9%)が4か月連続、軽自動車(同▲17.8%)が5か月連続で減少し、全体を押し下げ。自動車メーカーの認証不正問題などを受け、販売台数が大幅に減少したことが要因。

≪見通し≫

- インバウンド消費の増加が見込まれることに加え、雇用、所得環境が改善することで、持ち直しが続くことが期待される。一方、物価上昇の影響による節約志向の高まりから、持ち直しペースが鈍化する懸念も。

◆3月 勤労者世帯・消費支出(名古屋市)

- 前年比+20.1%(5か月ぶりの増加)
- ・交通・通信:前年比+176.6%(2か月連続の増加)
- ・家具・家事用品:前年比+119.7%(3か月連続の増加)

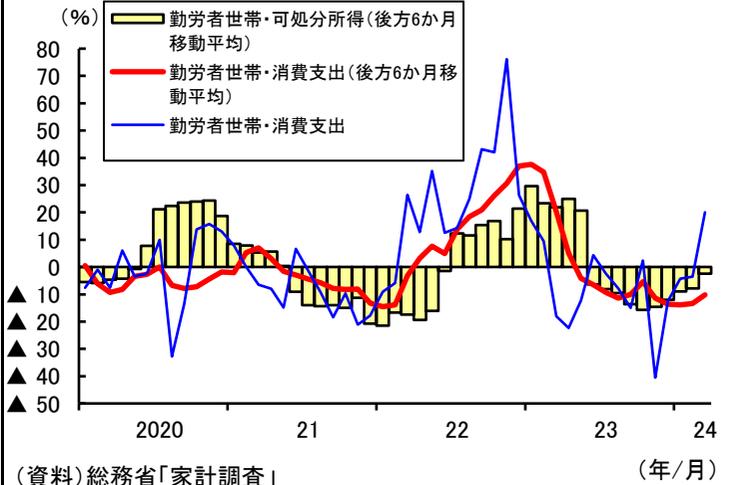
◆3月 大型小売店販売額

- ・百貨店:前年比+7.4%(30か月連続の増加)
- ・スーパー:前年比+6.8%(3か月連続の増加)

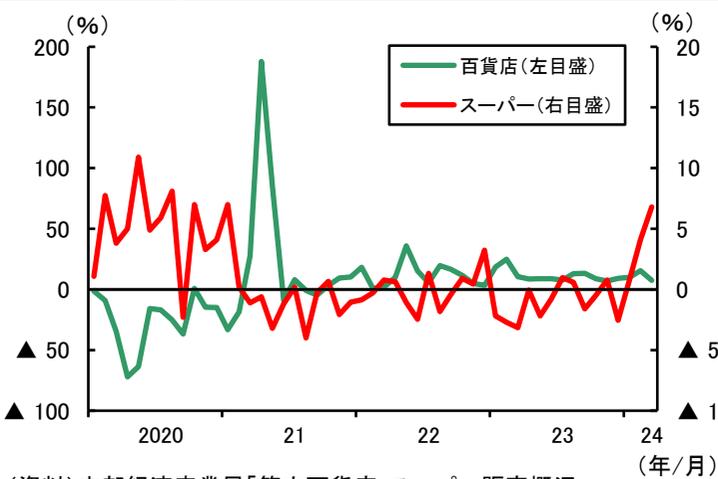
◆4月 新車乗用車販売台数(含む軽乗用車)

- 19,330台 前年比▲8.3%(4か月連続の減少)
- ・普通車 10,358台 前年比+0.3(3か月ぶりの増加)

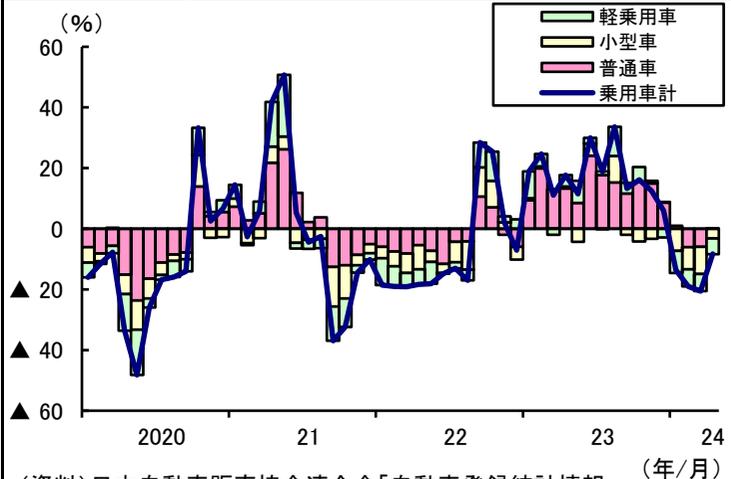
図表1 名古屋市・消費支出等<前年比>



図表2 大型小売店販売額<前年比>



図表3 新車乗用車販売台数<前年比>



雇用	水準評価		⇒	詳細	回復傾向が一服
	基調判断	前月比較			

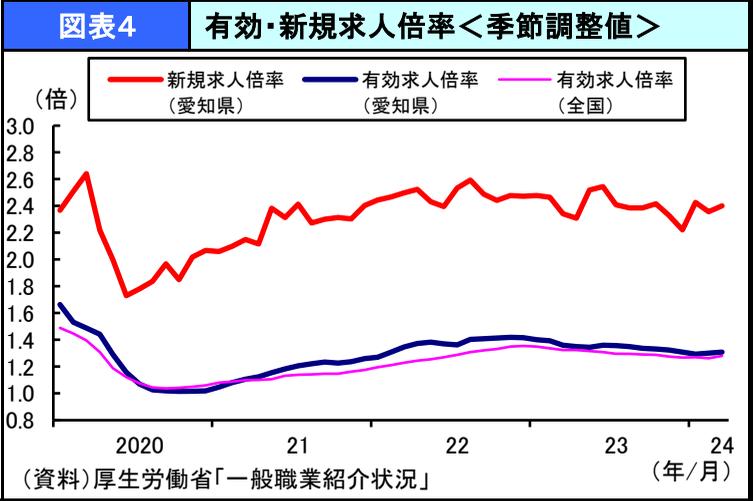
《現状》

○雇用は、回復傾向が一服。
 ○3月の雇用環境をみると、有効求人倍率は1.31倍（前月差+0.01ポイント）と2か月連続の上昇。新規求人倍率は2.40倍（同+0.04ポイント）と2か月ぶりの上昇（図表4）。新規求人数は前年比▲3.9%と5か月連続の減少。業種別にみると、サービス業<他に分類されないもの>（同+7.6%）、不動産業、物品賃貸業（同+5.2%）などが増加したものの、生活関連サービス業、娯楽業（同▲35.9%）、製造業（同▲8.6%）などが減少。

《見通し》

○原材料価格や人件費の高騰を受けて求人を控える動きが広がっており、雇用関連指標の悪化傾向が続く可能性も。一方で、インバウンドの回復や2024年問題への対応など、企業の人手不足感が強まっている側面も。

- ◆3月 求人倍率(季節調整値)
 - ・有効求人倍率:1.31倍
前月差+0.01ポイント(2か月連続の上昇)
 - ・新規求人倍率:2.40倍
前月差+0.04ポイント(2か月ぶりの上昇)
- ◆3月 新規求人数(原数値)
 - ・前年比 ▲3.9%(5か月連続の減少)



住宅投資	水準評価		⇒	詳細	弱含んでいる
	基調判断	前月比較			

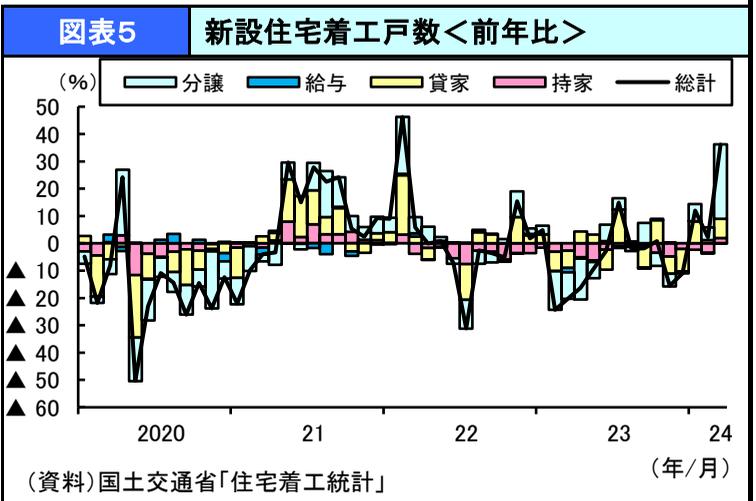
《現状》

○住宅投資は、弱含んでいる。
 ○3月の住宅着工戸数は、前年比+36.1%と3か月連続の増加（図表5）。利用関係別にみると、持家（同+7.0%）が25か月ぶり、貸家（同+19.3%）、分譲マンション（同+204.9%）や分譲一戸建て（同▲11.2%）の分譲住宅（同+75.9%）がそれぞれ3か月連続で増加。

《見通し》

○先行きは、人件費や建築資材の高騰に伴う住宅価格の高止まりや、住宅ローン金利の上昇懸念が住宅投資の抑制要因となる可能性も。

- ◆3月 住宅着工戸数
5,826戸 前年比+36.1%(3か月連続の増加)
 - ・持家:1,241戸
前年比+7.0%(25か月ぶりの増加)
 - ・貸家:1,878戸
前年比+19.3%(3か月連続の増加)
 - ・分譲:2,700戸
前年比+75.9%(3か月連続の増加)



3. 個別部門の動向: 企業部門

企業活動	水準評価		→	詳細	☀️☁️ 緩やかな回復傾向にある
	基調判断	前月比較			

《現状》

○企業の生産活動は、緩やかな回復傾向にある。
 ○3月の鉱工業生産指数は、前年比▲7.5%と2か月連続の低下(図表6)。鉄鋼(同+0.4%)が6か月連続で上昇した一方、生産用機械(同▲24.5%)が13か月連続、電気機械(同▲22.9%)が9か月連続、輸送機械(同▲7.6%)が2か月連続の低下。

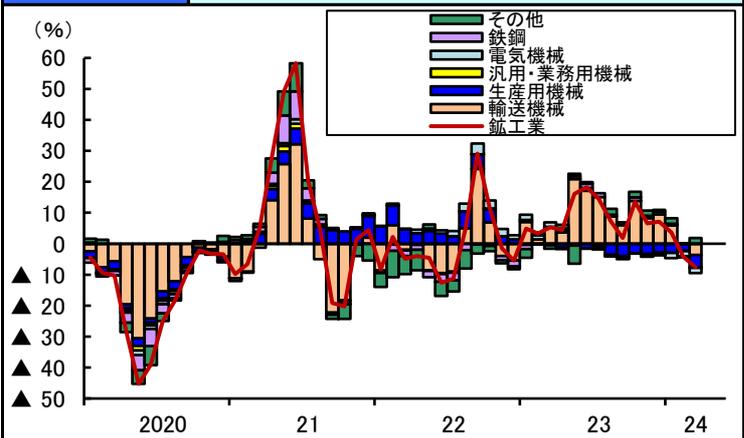
《見通し》

○トヨタ自動車は、4月からリコール(回収・無償修理)で生産を止めていた新型「プリウス」の出荷と生産を6月中旬から再開予定と公表するなど、生産は回復に向かう見通し。

◆3月 鉱工業生産

- 前年比▲7.5% (2か月連続の低下)
- ・輸送機械: 前年比▲7.6% (2か月連続の低下)
 - ・鉄鋼: 前年比+0.4% (6か月連続の上昇)
 - ・生産用機械: 前年比▲24.5% (13か月連続の低下)
 - ・電気機械: 前年比▲22.9% (9か月連続の低下)

図表6 鉱工業生産指数<前年比>



(資料)愛知県県民生活部統計課「愛知県鉱工業指数」 (年/月)

企業倒産	水準評価		→	詳細	☁️ 悪化しつつある
	基調判断	前月比較			

《現状》

○企業倒産は、悪化しつつある。
 ○4月の県下倒産状況(負債総額1,000万円以上)をみると、倒産件数は41件(前年比+1件)と3か月連続の増加。負債総額は41億円(同+20億円)と3か月連続の増加(図表7)。

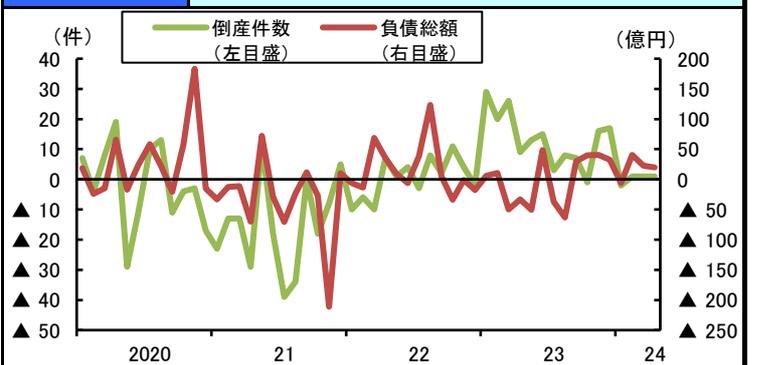
《見通し》

○原材料・エネルギー価格の高騰による仕入コストや光熱費の上昇、人手不足による人件費上昇などの業績圧迫要因に加え、コロナ融資の返済が本格化し、金融機関からの支援を得られず経営再建を断念する息切れ倒産が増加する可能性も。

◆4月 企業倒産

- ・倒産件数: 41件
前年比+1件 (3か月連続の増加)
- ・負債総額: 41億円
前年比+20億円 (3か月連続の増加)

図表7 倒産件数・負債総額<前年比>



(資料)㈱東京商工リサーチ「全国企業倒産状況」 (注)負債総額1,000万円以上 (年/月)

4. 個別部門の動向:海外部門

輸出	水準評価		⇒	詳細	持ち直している
	基調判断	前月比較			
<p>◀現状▶ ○輸出は、持ち直している。 ○4月の名古屋港通関輸出額は、前年比+11.2%と30か月連続の増加(図表8)。仕向地別にみると、西欧向け(同▲0.9%)が5か月ぶりに減少した一方、アジア向け(同+9.9%)が2か月連続、米国向け(同+20.4%)が12か月連続で増加。品目別にみると、自動車(同+10.4%)などが増加。</p> <p>◀見通し▶ ○景気回復が期待された中国向けが伸び悩んでいるほか、ウクライナや中東など海外情勢の影響による海外の景気減速見通しから、輸出全体の持ち直しペースは鈍化する見通し。</p>					
<p>◆4月 名古屋港通関輸出額 13,807億円 前年比+11.2%(30か月連続の増加)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アジア:前年比+9.9%(2か月連続の増加) ・米国:前年比+20.4%(12か月連続の増加) ・西欧:前年比▲0.9%(5か月ぶりの減少) 					
<p>図表8 名古屋港通関輸出額<前年比></p> <p>(資料)名古屋税関「管内貿易概況」 (年/月)</p>					

5. 個別部門の動向:公共部門

公共投資	水準評価		⇒	詳細	持ち直しの兆し
	基調判断	前月比較			
<p>◀現状▶ ○公共投資は、持ち直しの兆し。 ○4月の公共工事請負状況をみると、請負件数は前年比+15.9%と2か月ぶりの増加。請負金額は同+56.1%と2か月連続の増加(図表9)。請負金額を発注者別にみると、国(同▲44.6%)が減少したものの、市町村(同+124.2%)や独立行政法人等(同+42.6%)、県(同+6.6%)が増加。</p> <p>◀見通し▶ ○リニア中央新幹線開業を見据えた名古屋駅スーパーターミナル化、中部国際空港の将来構想など大型案件が見込まれ、公共投資は持ち直しに向かう見込み。</p>					
<p>◆4月 公共投資</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共工事請負件数:979件 前年比+15.9%(2か月ぶりの増加) ・公共工事請負金額:1,596億円 前年比+56.1%(2か月連続の増加) 					
<p>図表9 公共工事請負金額<前年比></p> <p>(資料)東日本建設業保証㈱「愛知県内の前払金保証取扱高」 (年/月)</p>					

県内経済トピックス

(2024年4月)



1. 愛知県が4年ぶりに訪日客の動向調査を実施 1番人気は名古屋城

- 4月15日、愛知県は県内を訪れた外国人旅行者を対象にした2023年度の県の動向調査結果を公表。県内の訪問先で名古屋城がトップとなった。10位以内には、栄・大須周辺や犬山城、2022年開園のジブリパークも入った。県内以外の訪問先では岐阜県が一番多く、東京、大阪などの定番ルート以外を巡る旅行者が増えている傾向が表れた。
- 調査は新型コロナウイルス禍により、2019年度以来4年ぶりに実施された。2023年10月下旬～11月上旬に中部国際空港(常滑市)から出国する外国人旅行者1,038人から聞き取った。
- 愛知県観光振興課の担当者は「何度か日本を訪れている外国人旅行者の地方への流れが進んでいる」と指摘。「繰り返して来ってもらうためにも、武将やものづくりなどの地域資源を磨き、満足度を上げたい」と話した。

2. 岡崎に「三井アウトレットパーク」2025年秋開業へ

- 4月25日、三井不動産(東京)は愛知県岡崎市に商業施設「三井アウトレットパーク 岡崎(仮称)」を2025年秋に開業すると発表。約170店舗が集まる愛知県初の本格的アウトレットモールとなる。2024年5月に着工。
- 新東名高速道路の岡崎東インターチェンジ(IC)や東名高速道路の音羽蒲郡ICの近くに立地し、名鉄名古屋本線本宿駅から徒歩でアクセスできる。敷地面積は15万8,400平方メートル。店舗は地上2階建てで、延べ床面積は4万9,800平方メートル。
- 三井不動産は2002年に三重県桑名市で「三井アウトレットパーク ジャズドリーム長島」を開業しており、東海エリアのアウトレットパークは2か所目。愛知県内では2025年春に「三井ショッピングパークららぽーと安城(仮称)」の開業も予定している。

3. 地域の歴史や文化、自然を紹介する豊田市博物館が開館

- 4月26日、地域の歴史や文化、自然を紹介する豊田市博物館が豊田市小坂本町に開館。前日の25日に開館式があり、太田稔彦市長や設計者で世界的建築家の坂茂さんをはじめ、地元の市民団体代表者ら約200人が新しい文化拠点のオープンを祝った。
- 同館は2021年12月に建設が始まった。整備費は約85億円。常設展示には、高さ7.8メートルの展示庫や豊田市内のジオラマがある。
- 開館式で、太田市長は「博物館で市民が交流、議論することで博物館を常にアップデートしてほしい。市民団体や企業の協力も不可欠。博物館を一緒につくっていきましょう」とあいさつ。坂さんは「環境問題に警鐘を鳴らすと同時に、温かみがあり、市民に親しんでもらえるよう同市産の木材を使った。防災施設としても活用してほしい」と話した。

景 気 指 標

三十三総研
2024/5/30

<愛知県>

(注) ()内は前年同期(月)比 < >内は季節調整済前期(月)比

	2022 年	2023 年	2023年			2024年	2023年	2024年			
			4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	12月	1月	2月	3月	4月
大型小売店販売額	(2.8)	(2.2)	(1.6)	(2.9)	(1.8)	(5.9)	(1.0)	(3.4)	(7.3)	(7.0)	
百貨店	(10.6)	(11.1)	(8.8)	(11.0)	(8.3)	(10.6)	(9.0)	(9.8)	(15.4)	(7.4)	
スーパー	(0.1)	(▲ 1.1)	(▲ 1.0)	(±0.0)	(▲ 0.9)	(4.0)	(▲ 2.5)	(0.8)	(4.1)	(6.8)	
新車登録・販売台数(台)	188,998 (▲ 10.3)	226,984 (20.1)	47,294 (23.1)	57,333 (22.5)	55,634 (15.1)	55,748 (▲ 16.4)	17,663 (12.5)	16,419 (▲ 9.1)	17,171 (▲ 18.5)	22,158 (▲ 19.7)	14,290 (▲ 4.4)
有効求人倍率(季調済)	1.37	1.38	1.35	1.35	1.32	1.30	1.31	1.29	1.30	1.31	
新規求人倍率(季調済)	2.48	2.48	2.46	2.39	2.32	2.39	2.22	2.43	2.36	2.40	
名目賃金指数(調査産業計)	(2.1)	(1.6)	(3.3)	(2.4)	(0.3)		(▲ 0.7)	(3.8)	(▲ 0.1)		
実質賃金指数(同)	(▲ 1.1)	(▲ 2.0)	(▲ 0.8)	(▲ 0.9)	(▲ 2.3)		(▲ 3.0)	(1.9)	(▲ 3.0)		
所定外労働時間(同)	(0.3)	(▲ 0.4)	(1.4)	(1.8)	(▲ 2.7)		(▲ 4.9)	(▲ 4.7)	(▲ 4.4)		
常用雇用指数(同)	(▲ 1.2)	(▲ 0.4)	(▲ 1.0)	(▲ 0.1)	(0.8)		(1.0)	(0.7)	(0.7)		
新設住宅着工戸数(戸)	59,255 (0.5)	54,685 (▲ 7.7)	13,447 (▲ 9.6)	14,763 (3.1)	13,826 (▲ 8.9)	14,789 (16.9)	4,226 (▲ 11.0)	4,742 (11.9)	4,221 (2.1)	5,826 (36.1)	
鉱工業生産指数	(▲ 1.3) -	(7.6) -	(12.8) < 7.9>	(7.6) <▲ 1.5>	(9.0) < 0.1>	(▲ 3.2) <▲ 8.1>	(7.2) < 2.4>	(3.6) <▲ 11.6>	(▲ 4.3) <▲ 9.6>	(▲ 7.5) < 4.4>	
企業倒産件数(件)	370	532	128	121	144	139	51	47	38	54	41
(前年同期(月)差)	(6)	(162)	(37)	(18)	(32)	(0)	(17)	(▲ 2)	(1)	(1)	(1)
民間非居住建築物着工床面積(千㎡)	3,689 (8.3)	3,527 (▲ 4.4)	1,119 (▲ 7.2)	673 (▲ 43.7)	1,208 (58.2)	547 (3.8)	198 (34.6)	140 (12.1)	271 (27.1)	136 (▲ 28.0)	
名古屋港 輸出(億円)	140,124 (12.3)	151,877 (8.4)	36,326 (7.5)	39,974 (12.4)	42,007 (9.3)	37,594 (12.0)	14,321 (12.8)	11,104 (22.6)	12,234 (8.4)	14,257 (7.7)	13,807 (11.2)
公共工事請負金額(億円)	5,303 (5.9)	5,502 (3.7)	2,333 (12.5)	1,441 (▲ 6.9)	825 (0.9)	1,251 (38.6)	196 (▲ 8.1)	264 (37.0)	252 (▲ 1.4)	735 (61.7)	1,596 (56.1)
消費者物価指数・除く生鮮(名古屋市)	(2.5)	(3.1)	(3.4)	(2.7)	(2.1)	(2.1)	(1.7)	(1.5)	(2.6)	(2.3)	(2.4)

<東海3県(愛知・三重・岐阜)>

	2022 年	2023 年	2023年			2024年	2023年	2024年			
			4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	12月	1月	2月	3月	4月
大型小売店販売額(全店)	(2.0)	(1.6)	(1.1)	(2.6)	(1.3)	(5.0)	(0.5)	(2.9)	(6.0)	(6.2)	
同 (既存店)	(1.7)	(1.0)	(0.3)	(1.9)	(0.9)	(4.7)	(0.0)	(2.2)	(5.7)	(6.5)	
新設住宅着工戸数(戸)	80,112 (▲ 0.5)	73,459 (▲ 8.3)	18,039 (▲ 10.9)	20,059 (▲ 0.6)	18,199 (▲ 10.1)	18,832 (9.7)	5,581 (2.6)	6,012 (2.8)	5,626 (2.6)	7,194 (3.4)	
有効求人倍率(季調済)	1.43	1.39	1.39	1.38	1.36	1.34	1.35	1.34	1.34	1.35	
新規求人倍率(季調済)	2.52	2.39	2.43	2.38	2.33	2.38	2.23	2.44	2.33	2.38	
鉱工業生産指数	(▲ 2.4) -	(3.6) -	(6.9) < 4.3>	(3.2) <▲ 0.9>	(6.2) < 2.8>	(▲ 4.3) <▲ 9.4>	(7.0) < 4.8>	(2.4) <▲ 14.1>	(▲ 5.5) < 0.6>	(▲ 8.3) < 5.0>	
企業倒産件数(件)	534	799	190	190	216	196	74	64	56	76	58
(前年同期(月)差)	(▲ 4)	(265)	(55)	(48)	(74)	(▲ 7)	(24)	(▲ 1)	(▲ 2)	(▲ 4)	(5)
域内外国貿易 純輸出(億円)	67,171	88,899	21,735	26,019	27,057	23,490	9,775	4,954	8,326	10,210	8,290
輸出(億円)	190,724 (12.3)	212,571 (11.5)	50,877 (10.9)	56,261 (15.4)	59,918 (22.9)	52,957 (16.4)	20,437 (19.6)	15,333 (27.5)	17,653 (14.0)	19,971 (10.9)	19,615 (14.9)
輸入(億円)	123,553 (41.9)	123,672 (0.1)	29,142 (▲ 3.8)	30,242 (▲ 11.6)	32,862 (▲ 4.0)	29,468 (▲ 6.2)	10,662 (▲ 1.5)	10,379 (▲ 4.6)	9,327 (▲ 2.6)	9,761 (▲ 11.0)	11,325 (11.1)